

すわ 市議会だより

9月定例会 ー第46号ー

発行/諏訪市議会 編集/議会だより編集委員会 〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 TEL0266-52-4141

諏訪市ホームページ <http://www.city.suwa.lg.jp>



9月定例市議会	1P
決算審査特別委員会報告	2P
代表質問(2議員)	5Pから
7月臨時市議会、傍聴記、市議会解説コーナー、請願・陳情審議結果	11P
議案審議結果、編集後記	12P
常任委員会報告、議員提出議案	3、4P
一般質問(10議員)	6Pから

きれいな諏訪湖をめざして“ヒシ取り大作戦”

9月定例市議会

平成23年第7回(9月)定例会が、8月30日から9月22日までの会期で行われました。

今定例会には、報告4件、同意1件、認定10件、議案7件が提出され、すべて同意、認定、可決されました。

<定例会日程>

8月	30日	本会議(議案上程・説明、請願・陳情付託)
9月	2日	本会議(議案質疑、付託)
	6日	本会議(代表質問・一般質問)
	8日	本会議(一般質問)
	12日～14日	特別委員会(決算審査)
	16日	常任委員会
	22日	本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)

九月定例会に付託された、認定第一号「平成二十二年度諏訪市一般会計歳入歳出決算」より、認定第十号「平成二十二年度諏訪市下水道事業会計歳入歳出決算」まで、十案件についての審査報告です。

社会情勢は、ここ数年来、中国初め東南アジアの経済発展が目覚しく、企業の海外シフトが頻繁に行われ、一方で、世界経済をリードして来た欧米の基幹国家の信用度が損なわれる状況となり、円高にますます拍車がかかって参りました。需要を国外に展開するわが国の大手企業にあっては、円高の為替による影響を受け、先行きは極めて不透明で大変厳しい状況にあります。

二十二年度諏訪市の決算状況です

決算審査 特別委員会人事

平成22年度の決算審査特別委員会の人事が決まり、議長を除く全議員により、下記報告のとおり平成22年度決算認定審査が行われました。

委員長 奥野 清
副委員長 伊藤 浩平

が、一般会計決算の歳入では、予算額に対して九九・七％で、五五二七万円の減収となりました。歳出については、予算額に対して九四・七％の執行率で、不用額として八億四五六五万円が計上されました。

特別会計決算歳入においては、予算額に対して一〇一・四％で七五五五万円の増収でしたが、歳出では九七・四％の執行率で、不用額は一億四二一八万円の計上となりました。

従って、平成二十二年度では、一般会計と特別会計併せて、九億八七八四万円の不用額が計上されました。歳入面では、景気の低迷を反映して、基幹収入である市税が大幅な減額となりました。一方で、地方交付税は増額となりましたが、一般財源の確保においては依然厳しい財政状況にあります。

このように、極めて厳しい財政の中にあつて、健全な資金コントロールがなされていることについては、高く評価する所です。また、本年をもつて終了となる第四次総合計画は、今日まで、概ね趣意に沿った事業展開が出来ており、行財政改革への取組成果も認められました。

審査の中での一部事項を抜粋列記しておきます。

成果としては、職員数激減の中で職員の頑張り努力、健全化法に基づく基準内での財政運営・子育て支援、就労支援事業・福祉医療費の小・学六年児童まで引上げ・原材料の支給による協働事業・都市基盤造成に新たな一歩・市民満足度調査等、市政における舵取り役としての成果・指定管理制度導入・中小企業支援事業・事業に適正な予算執行。

指摘としては、市税未収額は、滞納となつている実情を精査し対応が必要・障害児施設への取組・駅前活性化の取組・山林鳥獣害対策・わかりやすい決算書・部局間の連携が希薄・予算見積を厳しく・アドバイザーの処遇。

要請としては、職員の健康管理に充分な配慮を・市と指定管理者の役割の明確化・障害児施設耐震の早急な取組・ゴミの出ない仕組みづくり・駅前活性化対策・若者の政治関心取組・審査の中で要望を真摯に対応・公会計制度への移行・行政で営利も・自主財源の確保等々。委員の総発言は二八〇項を超えての審査と

なりました。

審査結果は「認定第一号」「認定第二号」「認定第八号」の三会計については討論となり、採決の結果いずれも反対二名、賛成十一名で認定となりました。

他七会計については、全会一致で認定となりました。



同意第5号

教育委員会委員の任命について、
小島 雅則^{まさのり}氏の任命に同意しました。

教育委員とは？

教育行政を処理するために設置される執行機関で、委員は5人。人格高潔で教育・学術・文化に関し識見を有する者のうちから市長か議会の同意を得て任命され、任期は4年。

議案審議

第7回（9月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

**市税条例の一部改正Ⅱ多数決可決。
条例一部改正二件および補正予算Ⅱ全会一致可決。
陳情二件Ⅱ採択一件、継続審査一件。**

◎諏訪市税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正を受け条例の一部改正。NPO法人の寄付金税額控除適用下限額の引下げ。不申告などの罰則過料引上げ。株式等の配当、譲渡所得に対する税軽減の二年間延長。過料を上げる効果が不明、軽減延長は金持ち優遇で反対。納税者への罰則は重要なので賛成。反対一・賛成五で可決。

◎諏訪市都市計画税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴う項すれ等を改正。実質的変更なし。全会一致可決。

◎諏訪市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員確保が困難な中、昼間の地域防災活動に携わる団員として他市町村からの在勤、在学者を対象に。全会一致可決。

◎平成二十三年度諏訪市一般会計補正予算（第四号）

コミュニティ助成事業費五七〇万円。農地・水・環境保全向上活動支援事業費二〇七万円。鳥獣害対策事業費二一六万円。林業経営構造対策事業費二四二万円。林道維持管理事業費二四四万円。TMO事業負担金二〇〇万円。住宅リフォーム補助金三〇〇万円。産業連携推進室経費八〇万円。消防費三三一万円。全会一致可決。

◎郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書の提出に関する陳情書

郵政民営化によるサービス低下改善のための郵政改革法案の速やかな成立をとの陳情説明。民営のままでは、国民へのサービスが望めない。反対、民営化を実施後の問題点を改善するというもので賛成。反対一・賛成五で採択。

◎浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書の採択を求める陳情書

今後三十年以内にM八・四の地震が八七%の確率で起こる東海地震の震源域真上にある浜岡原発につ

いては、国の原発政策の全面見直しの如何に関わらず、速やかに廃炉を決定するよう陳情説明。

浜岡原発は、現在停止中、データの公表を受け、是非を精査したい、国の動向を見極めるため継続審査。世界一危険な浜岡原発は、エネルギー政策の検討を待たずに、一日も早く廃炉すべきとして採択。

継続審査の採択は反対三・賛成三の可否同数、委員長が継続審査と決した。理由は日本は原発の技術力を海外に向けており、即刻廃炉の判断は困難。今後の動向を見極め慎重に継続審査とすべき。



捕獲檻の設置

議員提出議案 （意見書関係）

◇郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書……

（賛成多数）可決

平成十九年十月、郵便・郵便貯金・簡易保険のいわゆる郵政三事業は、日本郵政株式会社の下に、それぞれの事業を継承した三つの株式会社と三事業会社から窓口業務等を受託する郵便局株式会社（形で民営化・分社化されました。当時政府は、経営の自由度の拡大を通じて良質で多様なサービスを安いに料金で提供でき、国民の利便性を最大限に向上させるとしていました。しかし現状においては、別組織となったことによりサービスの低下が指摘され、特に公的交

通機関の利便性が悪い地方の高齢者などにとっては深刻な問題であり、見直しが求められています。よって、国民にとってより良い郵便局ネットワークを再構築するため、継続審議となっている「郵政改革法案」を速やかに成立させることを要請する意見書を提出しました。

議案審議

第7回（9月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

**平成二十三年年度一般会計補正予算Ⅱ賛成多数可決、市条例一部（名称）変更、市立小・中学校体育館変更、国保補正予算Ⅱ各全会一致可決
請願一件、陳情二件Ⅱ採択、陳情一件Ⅱ不採択**

◎平成二十三年度諏訪市一般会計補正予算（第四号）について

歳入では、民生費補助金として、補正額一〇二〇万二千円。教育費補助金として、補正額一一五五万三千円。特別交付税補正額二六八二万四千円。増額補正は、国保財政安定化支援事業分が含まれる。

歳出では、八五一万九千円国保会計へ。二六四万五千円は、「あおぞら工房諏訪」の手洗い所改修や車、パソコンなどの備品整備費。四七〇万五千円は、市内の老朽化した児童遊園遊具の整備費と講演会の講師謝礼や職員研修費の家庭相談事業費。

保育所費補正額三二〇万三千円は、市内保育園三才以上の部屋六十一台分の除加湿空気清浄機設置費で、これで市内全保育園に設置。続いて太陽光発電設置事業には、予算を上回る申し込みがあり、これに伴い九十九件分八一〇万円の補正。そして、九月一日に発足した二市一町の湖周ごみ行政事務組合の負担金一二七九万五千円は、事務費と測量・調査などの委託料。

社会教育総務費補正額五三万八千三百円は、「片倉館」の重要文化財指定等に伴う記念事業費で、そのほか文化センター費、図書館費、原田泰治美術館費がありました。

以上に質疑をした上で、ごみ処理行政組合に関わる補正額の反対はありませんでしたが、賛成多数で可決となりました。

◎諏訪市非常勤特別職の職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

「体育指導委員（非常勤職員）」を国の法改正のもと「スポーツ推進委員」と改めること。質疑の上、全会一致可決。

◎諏訪市立小学校及び中学校施設管理条例の一部改正について

解体した四賀小学校小体育館を削除し、四賀小学校大体育館を四賀小学校体育館に改めるもの。また、諏訪西中大体育館を諏訪西中体育館に改めるもの。質疑の上、全会一致可決。

◎平成二十三年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

補正額三四〇四万円で、予算総額四八億五七五二万八千円。平成二十二年年度の精算による医療費給付費等交付金等の償還金で、予算化されていない繰越金を充てて予算措置する



マイクロフィルム化に取り組む図書館

もの等です。なお、平成二十二年年度の療養給付費の精算により五〇〇〇万円見込まれるが、確定後に十二月議会へ補正予算として計上する。質疑の上、討論、全会一致可決。
請願・陳情

◎機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める請願書

◎三十人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書

◎長野県独自の「三十人規模学級」の中学校全学年への拡大を求める意見書提出に関する陳情書

◎「検討委員会」に市民公募による委員の追加を求める陳情書

Ⅱ不採択（採択一、不採択五）

議員提出議案 （意見書関係）

◇機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書…

（全会一致）可決

脾臓の機能失調が主因で起こる「機能性低血糖症」の認知度は低く、適切な治療を受けられている患者も少ないのが現状です。診断には、五時間間の耐糖能精密検査とインスリンの経過を診ることが必要ですが、保険が適用されておらず、高額な自己負担は重くのしかかり、さらに、実施している医療機関が少ないのが問題です。一日も早く社会の中に認知させ、安心して医療を受けられる体制整備へ迅速な総合的対策の推進をするための取り組みを国に強く求める意見書を提出しました。

◇三十人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書…

（全会一致）可決

国の責任において早期に「三十人学級定員」を実現することを含めた、第八次定数改善計画を実施すること。また、学校現場に必要な教職員の人員・人材を確保することを求める意見書を提出しました。

◇長野県独自の「三十人規模学級」の中学校全学年への拡大を求める意見書…

（全会一致）可決

どの子にもゆきとどいた教育を保障する観点から、県独自の「三十人規模学級」を中学校全学年へ早期に拡大することを求める意見書を提出しました。

代表質問

代表質問は、各グループの政策上の問題などについて質問するものです。
掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、代表者の文責によるものです。

第四次諏訪市総合計画の実施状況・第五次計画の策定について・都市計画道路の進め方と見直し



新風会
金子 喜彦

問 基本構想に示された市の自主自立の方向性を見出し、市民と行政の

答 平成十一年以来、一貫して「ともに生きるまちづくり」を基本理念に「市民との協働」を念頭に、行政運営を進めている。五六七事業を実施済

問 CO₂濃度の増加防止策としての市民の行動は、数値的に捉えて指標を持って示されたか。

答 県と連携してアイドリングストップ。地球温暖化防止のパネル展示や環境家計簿の配布利用、諏訪市広報にみどりのカーテンやよしずの利用、

環境家計簿により電気・ガス・水道・灯油・ガソリンの使用量を把握し、一五％程の節約を達成、太陽光発電システムの設置補助で年間一千tのCO₂削減ができるようになっていきます。指標については、環境基本計画の中で示していくことを考える。

問 災害被害発生後ではなく、諏訪盆地の特性地形から、自然を活かした森林管理、水路・用水路の整備は、三十年〜五十年前のままになっていて、現在のゲリラ豪雨には対応できていない。予防処置を計画的に進めていくべきでは。

答 H18災害、H21災害復旧工事を含めて治山谷止工事（堰堤工事）は三十一ヶ所、林道整備は十四路線二十ヶ所を整備した。災害を未然に防ぐには、各地区山林を集約化して、一山ご

ゆたかな自然と社会が調和する、
心豊かな、活力のある
環境文化都市

第4次諏訪市

総合計画



第4次諏訪市総合計画

とに効率よく間伐を進める。防災パトロールを強化して、年次計画により治山ダム建設をする。新川の洪水位が周辺土地へ影響を与えないよう、高水位を考慮して改修計画を行っている。道路・水路の改修を計画的に順次上流側へ伸ばしていく。地元業者への計画的委託は出来ない。

問 諏訪人の故郷「きれいな諏訪湖」への取組みは。特に農業田畑からの過剰肥料の対策は。

答 以前は、植物性プランクトンの一種であるアオコが大量発生し、近年はヒシ刈り取り除去を県の緊急雇用創出事業として平成二十一年から三年計画で実施。これから策定する環境基本計画の中で長野県と考えていきたい。

問 公園、ポケットパークなどの適正な配置、管理は。

答 二十八ヶ所の都市公園、総面積六八・六二ha、人口一人当り一三・四五㎡です。児童遊園は九十三ヶ所とバランスよい。管理は、業者・地元地区と管理協定を締結して推進している。

問 上水道の供給と水源森林地の保全は。諏訪市の湯量は。宮の脇温泉の上手な利用は。

答 間欠泉の噴出量は落ちてしまった。源湯からの汲み上げ湯量は七三四六ℓ/分です。諏訪大社のお膝元の温泉として観光面、まちづくりに活用検討を考える。

問 元気な高齢者の孤立防止は。

答 近所で声を掛け合う縁側交流区、自治会単位のサロン活動。「いきいき元気館、駅前みんなの広場、老人福祉センター」の利用。行政だけでなく住民組織の協力が不可欠。旧湖南保育園は耐震強度が低く、補強も困難でコミュニティの場として使用できない。

問 区自治会加入の義務付け、地区の再編等の見直しの必要性は。

答 行政において義務付けはない。地区防災・福祉・ゴミ・回覧物などから問題であるとは考えてはいる。条例の制定には、今後様子を見る。再編は各自自治体の合意形成。

問 都市計画道路の推進と見直し。

答 計画三十九路線改良率二三・四％現在の社会情勢と整合しない。見直しが必要。神戸田辺線は、飯島橋の架け替えを視野に。四ツ谷線は宮川橋の架け替え。岡谷茅野線と中央幹線に連結の費用対効果は高い。

問 国道バイパス早期推進を。

答 全地区賛成。ルートや工法、構造はPI手法により住民合意を重ね検討していきます。

問 再生可能なエネルギーや放射線物質の計画的測定は。

答 北武井田太陽光発電研究会とは今後庁内で整理協議する。測定器を十月下旬に購入し進める。

1. 諏訪市の保育行政について 2. 介護保険制度改訂による諏訪市の方針



日本共産党
諏訪市議員 団多都子
廻本

問 統廃合ですすむ保育園のマンモス化について。保育園は①子どもの育ちを守ること②いのちを守ること③親を守ることと大事な役割を果たしています。こうした事を果たすためには、園長先生が名前を覚えてもらえるのはギリギリ一〇〇人です。統廃合で遠くの保育園では働く親にとって大変です。なぜ二〇〇人定員ですか。

答 国の最低基準の中で三才児二〇人クラス、四く五才児三〇人で一クラスとして二クラスに未満児二〇人で二〇〇人です。

問 豊田保育園の建て替えに伴う文出保育園との統廃合の住民説明会では、保育園はただ子どもを預ける施設ではなく保育園があることにより人口が増加し、スーパードラッグなどの環境も整い、まちづくりからの観点でも小規模文出保育園を残してほしいなど、住民・保護者からの意見がありました。今後どう考えますか。

答 市の財政から統廃合と民営化しかない。

答 住民のみなさんの声から解決策を整理し、もう一度説明をする。

問 市財政が困難というが、今国からの交付金と市の負担は増えているのか。

答 年間一二億円ですが、交付税に国負担は算入され、市の負担は増えていません。

問 三年毎見直しのルールによつて介護保険制度の改訂がされますが、現時点での特養施設への待機者は、増えていますか。

答 五月二一人、八月二九人と増えています。

問 今回の改訂では要支援とされる方達のサービスを、自治体毎に判断されるとしているが、市はどう考えるか。

答 広域連合の中でどうやっていくか考える。施設を作れば保険料もアップする。

問 保険あつて介護なしと民営化がすみ、介護サービスつき高齢者住宅も、所得(年金)によつては利用できない人もいます。介護を必要とする市民への要望に応える制度にしてください。



保育園運動会

市政のことが聞きたい

一般質問

市政全般について議員が自由に質問できる一般質問の制度があります。九月定例会では十人の議員が各方面にわたつて質問をおこないました。掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。なお本会議の会議録は図書館、市役所ロビー、市議会事務局で閲覧できます。一般質問などの詳しい内容については会議録をご覧ください。

山間地域における農業振興策、高齢者支援策は



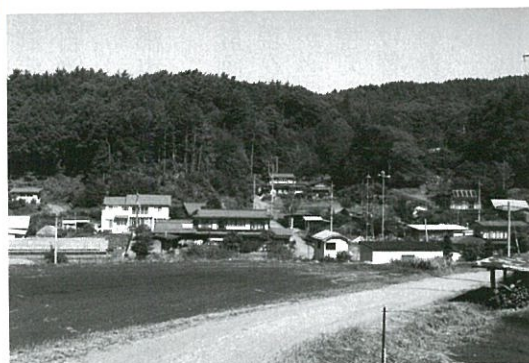
宮下 和昭

問 特定電気事業者である諏訪エネルギーサービスの運営状況は。

答 老人保健施設「かりんの里」と諏訪赤十字病院に電気と冷暖房の熱供給をしてきたが、燃料費の高騰で現在は発電を行っていない。熱供給は引き続き進めていくとしているが、事業者としては、難しい状況にあると聞いている。

問 本年のようなエネルギー状況が続くとすれば、この事業に期待するところが大きく、需要拡大が図れると考えたが事業運営が難しい状況ではやむを得ない。

問 過疎化、高齢化が進む山村地域における産業振興策、タクシー券補助など高齢者支援策は。



上野大根のふるさと上野

答 認定農業者制度に基づく農業の継承、中山間地直接支払い制度による地域支援が行われている。

答 タクシー券については、条件緩和について検討している。

問 特産品である「上野大根」栽培への支援策は。

答 市場でも人気で高値である上野大根の栽培作業の支援についても、地元の要望があれば対応していきたい。

問 市職員の交通事故が多いが。

答 ここ数年は十件未満だったが、昨年度は自損や対物など十八件あり多い。事故発生時の情報共有化を行うなど、一層の事故防止に努めていきたい。

諏訪湖SAにスマートインターチェンジ設置の計画は 間欠泉センターの現状と今後は



森 山 広

問 市内の観光や交通緩和への効果が期待される諏訪湖サービシアへのスマートインターチェンジ導入の考えは。

答 設置の方向で岡谷市と推進する確認は取れている。今後、接続道路や周辺の環境整備が課題。地域協議会を設置し、地域の合意形成を計り進めたい。ただ、一方は出口のみ、一方は入口のみと利用方法が限られる可能性もある。

問 間欠泉センターは、間欠泉の自噴能力低下や館内展示は人気がなく、観光客の不満も多い。今後の活用の見直しは。

答 間欠泉の自噴は難しい。施設の老朽化もあり、このまま見学施設だけの利用だけでは限界がある。諏訪の観光を発信できる施設としての活用を検討したい。

問 観光パンフ等の掲載写真が古いのではないか。また、魅力あるパン

フづくりを。

答 写真は著作権の問題がある。今年度、開催している観光フォトコンテストの写真などを使い、魅力ある諏訪を発信したい。

問 高齢者と空家対策についてですが、元気高齢者、弱高齢者に対する早期対応は。

答 支え合い活動を中心にアイデアを出して頂き、対応していきたい。空家対策として解体補助金の考えはあるか。

答 私有財産であるので、公費投入は考えていない。

問 温泉リハビリセンターの事業主体に関し、市長は当初「めぼしがある」としていたが、その後「公明正大に公募で選ぶ」とした理由は。

答 市の定例会見で述べた。それが市の方針である。

問 市庁舎前の駐車場スペースが少ないのでは。

答 慢性的な駐車場不足ではないと思っているが、今後方策を考えたい。



諏訪湖間欠泉センター

地震災害の液状化対策とゲリラ豪雨対策。公共施設に洋式トイレの設置・整備の推進を。



水野 政利

問 大地震が発生した場合に大規模な被害が心配される液状化の対策は。

答 県の地震対策基礎調査では、諏訪平の全域で液状化の可能性がある。

問 東海地震では可能性が低く、糸魚川静岡構造線の地震による方が高いとも言う。液状化は、国が対策強化や発生メカニズムの解析を始めたので参考にした。ただ、細部予測が困難で危険度マップの様なものは難しいので、既存のマルチハザードマップの見直しの際は、何らかを盛り込みたい。また先進事例や被災地への研修を検討したい。

問 市内のゲリラ豪雨被害の現況とその対応策は。

答 ゲリラ豪雨による出水は、排水施設の能力オーバー、低地地盤への水の停留、下流域が満杯で上流があふれる、この三つの要因がある。想定外雨量を予測した流量の水路改修は現実的でなく、個々の河川や道路改修は現状を注視しながら、地元合意のうえで次善の策を検討する。緊急性の高いものはこの限りではないので、随時情報提供をお願いしたい。

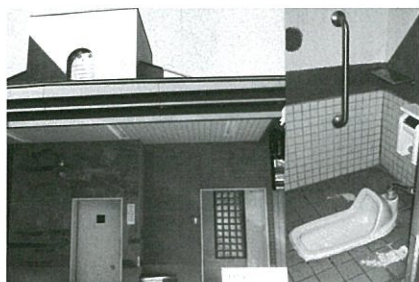
問 公共施設の洋式トイレ設置・整備の推進を。

答 市営施設・公園を含め一三六三基のトイレがあり、洋式は四一％の五五二基。費用面もあるが、不特定多数が利用するので和式か洋式どちらか一方だけでは問題。和式も需要があるので残している。

問 質問の本意は、市民や観光客の声。要望から、せめて上諏訪駅東西のトイレに洋式トイレ設置の提案だ。

答 過渡期であり、衛生・管理面等の問題が。

問 是非、早期の設置を求めます。



上諏訪駅東口のトイレ

産業連携推進室の拡充強化を図り、事業の積極的取組みを。 財源確保の積極的な事業推進を。



山田 一治

問 産業振興策としての、産業連携推進室の組織、事業内容、関係団体との取組みは。

答 経済部長を室長とし、専属の係長を配置し、工業を基盤に商業・観光や農業水産業など、有機的に結び付ける支援をし、大・中小企業、商工会議所等産学と他自治体との連携をする。本年度は、情報収集と講習会を予定。

問 駅前再生事業について。

答 周辺商店街、商工会議所、商連、TMOや上諏訪駅も含め検討していく。

問 まるみつ百貨店閉店後の動向と今後の見通しについて。

答 まるみつは複数ルートで売却交渉中である。しばらく時間が必要である。

問 行政改革について、指定管理施設の活用状況と管理監督は。

答 民間に任せることで(一)サービス内容の充実(二)ノウハウの活用ができ、コスト削減効果が大きく、まずまずの成果あり。また、管理監督面は、毎月の実績報告書、年度終了後の事業報告書を求めている。所管課は事業実施状況の確認による定期の検討会を月一回行い、提案されたサービス水準の管理監督をしている。

問 財政改革について、厳しい経済環境の中で、健全財政確保に努められているが、自主財源の確保のため、遊休資産の活用処分や諸施設等への広告看板募集や資産貸与についての考えは。

答 市有財産の有効な利用方法については、費用対効果や法令順守を念頭に、市民の声を聞き検討していきたい。

問 自主財源拡大を要望する。



産業連携推進室の新設

1. 市民の意見・評価の反映と政策決定への市民参加を。2. ごみの減量。3. 放射性物質汚染への対応。



有賀ゆかり

問 市民意見・市民評価を政策へ反映するための満足度調査の設問設定の基準は。

答 主要政策、特徴のある政策を選定。

問 今後の分析、「知らない」「不満」のとらえ方。

答 地区、年齢など属性別に、またコメント欄も分析する。

問 設問の仕方や「満足度調査の満足度」も検討が必要。

問 メール・提言はがき等の分析。要望が多く、提言は一割程度。

問 市民目線でのカイゼン活動を。

答 顧客(市民)満足度を上げることが重視して取り組む。

問 政策決定に関わる各種検討委員会の人選、公募の有無、公開などの基準は。

答 要綱で中立性、公平性、女性の登用、専門性、学術的知見などとしている。

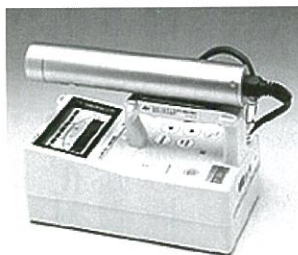
問 今後、基本ルールを決め、且つ、設置の都度明確にする必要がある。分別が進んで燃やすごみ減量は進んでいるものの、プラスチック系ごみは大幅増加。プラ系はリサイクルにもコストがかかり、資源化率も低い。減量目標を設定するべきではないか。

答 資源化率の目標はある。

問 自治体負担が増す中、拡大生産者責任の徹底や、デポジット制導入などへの市長の見解。

答 事業者への影響も考えなくてはいけない。

問 放射性物質汚染については空間線量ではなく、土壌、水源、食品など。



新規購入した放射線測定装置

答 どの継続的調査が必要。水源の調査を行う。諏訪湖の湖底堆積については県と検討する。

問 災害対策の中に原子力災害の視点を追加すべきではないか。

答 今後の防災対策に組み込む必要がある。線量計は購入する。安定ヨウ素剤の備蓄は県の対応をお願いする。

「指定文化財」「地方自治法改正」「行財政改革」について



奥野 清

問 諏訪市における指定文化財の数、活用方法、周知は。

答 諏訪市に一七二件の文化財が存在。

六月「片倉館」が国の重要文化財に指定された。共同浴場としては、「道後温泉」に続き二例目。松山市長へ書簡を送り、十月に訪問の予定。また、松山市長を諏訪市へ招聘する機会を設け、松山市との繋がりを模索して行く。周知には、パネル、解説本・ガイドブック、ライトアップもあるが、片倉館の重文指定に絡めて、「東の片倉、西の道後」、「洋の片倉、和の道後」の話題性を喚起し、観光事業を通して産業活性化、教育等広範囲に活用。

問 地方自治法改正により、市の基本構想・計画の作成義務がなくなつたが。

問 将来は自治法改正の態勢にシフトされて行く。来年度からスタートの第五次については、従来通り基本構想・基本計画・実施計画の三段構えで対応する。

問 第五次計画策定への今後の対応は。

答 審議会を立ち上げ、最終案を三月議会に提示。議会議決は外されるが、議会の意見、市民の意見は十分に汲み取って反映させる。

問 行革の一環として導入した指定管理者制度の成果は。

答 現在九施設を移管。経過の中で施設の統廃合による経費の節減等もあるが、行革としての総効果は、累計で約三三億円の成果を上げている。ただし、行革の中で、人的削減は限界。来年度から指定管理移行の「すわっこランド」への行革期待度は。民間サイドによる市民へのサービスの向上と運営コストの削減等に期待する。



国の重要文化財に指定された片倉館

献眼障害者福祉と、安全安心の街づくりに対する第四次総合計画の総括と今後の対策について



増澤 義治

問 献眼に対する諏訪市の考えについてお伺いしますか？

答 献眼や角膜移植を斡旋するアイバンクや、臓器移植推進協議会活動支援は、長野県及び民間のライオンズクラブ等が行っていて感謝している。諏訪市においては、啓発資料の配布やイベントなどの折に推進の場を提供している。献眼の際、眼球摘出は遺族の方に抵抗感が大きいですが、角膜だけを摘出できるマイクロケラトロン電動トランプ装置という機械も開発されているので導入をしては？

答 全国的に普遍的に配置されている医療機器ではない模様で、県レベルでの導入が適切ではないか。

問 献眼の尊いご奉仕をされた方に諏訪市長として、感謝状を差し上げることが出来ないか？

答 市の表彰規定等を確認の上、検討をする。

問 踏切をなくし、事故防止のためにJR中央東線の対策は？

答 高架は市内だけでも二〇〇億円かかる。現実問題としては、バイパス整備の後になる。

問 国道バイパスは市内の四対策協議会が一本化し、期成同盟会となるが、下諏訪との接点に対し協議の場を設けるべきでは？

答 下諏訪との協議の前に、諏訪市としての考えをまとめる必要がある。

問 市・県・各種関係団体・学校・企業等が集まり、これからの諏訪市の公共交通網のあり方を検討する場の設置についてはどうお考えか？

答 協議会の役割や可能性についても研究していきたい。



愛と光の献眼

バス路線の見直し・住みたくなくなる街づくり



伊藤 浩平

問 バス利用アンケートの結果は。

答 バス路線の細分化や大型店への乗り入れ、土日祝日の運行、電車への乗り換え等の要望がある。かりんち

やんバスは、おおむね満足している方が多い。

問 今後のスケジュールは。

答 地区の懇談会を近く開き、沿線住民の要望を聞く予定。その後、地域公共交通会議を設置し、運行計画策定に入る。業者選定、国交省の許可に時間がかかる。国の補助金も活用していきたい。

問 ゲリラ豪雨の対策、ポンプ改修をした所でも冠水したが。

答 先日のお盆の豪雨は、十分間の降雨量が過去最高でした。ポンプまでの水路、道路に問題がある場合がある。地元と協議をし、対策を講じていきたい。また、下流域では水田耕作のための堰板が水位上昇の原因にも考えられます。耕作者等の協力もお願いしたい。

問 市民満足度調査では、以前から道路整備の不満が高いが。

答 路面状態が荒れている点が不評と考える。路盤改良せずにアスファルトをかけた程度の道路が多いため。地元の要望を受け、改良箇所も多い。今後イメージアップに努めていきたい。

問 人口増の手立てとして新築に対する補助の考えは。

答 過疎化対策として制度化している自治体はあるが、諏訪市では人口増につながるか不透明であり、考えていない。

問 三人目の保育料減免を同時保育に關わらず行つては。

答 保育料が増え財政負担となり、現時点では難しい。



市民の足“かりんちゃんバス”

豊田・文出保育園の統合・建て替え！保育園とデイサービスの複合施設！避難所のプライバシー



丸山 健一

問 豊田・文出両保育園の統合建て替えには地元不安や反対の異論が多く、地元への説明不足が原因では？住民投票で決めたらとの声もある。結論をどう導くか？

答 耐震診断の結果数値が低く、園児数の見込み、園舎の老朽もあるので五年、十年先を考えて提言したが、いろいろな意見をいただいたのでそれに回答しながら進めたい。統合をこり押しするつもりはない。もう一度検

討し決めたい。

問 (一)保育所専門委員会の答申どおり統合・建て替えをする。(二)統合しないで豊田は建て替え、文出は現存。(三)豊田・文出とも耐震補強で現存。市長の見解は。

答 賛同いただけないなら(二)なのかなとも思う。今後も地元区、保護者会の皆さんとの話し合いを続け理解を求めていきたい。

問 これからの保育園は、園児と高齢者が日常交流ができるように新築時にはデイサービスセンターとの複合施設がいいと思うがどうでしょうか。

答 高齢者と子どもたちとの考えはいいが、合築が可能なのか。法的なこともあると思うので検討してみたい。

問 災害時の避難所は、小・中学校の体育館、地区公民館等です。災害時の避難所生活は長期になるほどプライバシー確保が問題。そこでカーテン付の紙製間仕切りがいいので購入できないか？

答 参考にして検討してみます。



文出保育園

湖周ゴミ問題。リハビリ施設。指定管理者制度。住宅リフォーム制度について。



井上 登

問 広域行政で市民の意見が通りにくくなる。市民への責任は。

答 すべてのいいとは思わないが、一律のサービスが受けられる。

問 循環型社会形成推進基本法はゴミの抑制を優先しているが、実際には広域で焼却炉の大型化が図られている。諏訪市のゴミの現状は。

答 二〇一〇年八月現在、家庭系四四四t、事業系二八六t。前年同月比家庭系九七％、事業系一〇二％。

問 事業系ゴミ料金が他市町より安い

答 が、他からの持ち込みは。

問 しつかり監視していく。

答 ゴミ料金の今後は。

問 事業系は景気が悪いので今上げる事はない。家庭系はやる事をしつかりやってからだが、湖周でやるとなると、他市にそらえる。

答 湖周コストは高いのでは。

問 処理方法が決まらないとしつかりした数字はない。

答 諏訪市で最終処分場建設となっているが。

答 民間委託もあり得るが、決まった時にお知らせする。

問 ダイオキシンの、重金属の対応は。

答 重金属が含まれる可能性は無いと考えている。

問 市民病院的性格の日赤に、回復期リハビリをしてもらうのが良いと思うが。

答 急性期対応の病院になっている。

問 土地開発公社所有の土地の総額と利息は。

答 六二億三〇〇〇万。年利息は四九〇〇万円。

問 リハビリ施設の全体がわかる時期は。

答 来年技能五輪後。

問 指定管理者制度、諏訪市のモニタリングは。

答 市には所管する組織が残っていて毎月実施。

問 コスト縮減が経営・労働条件に影響しないか。

答 市民サービスを重視している。

問 住宅リフォーム制度の現状は。

答 好調な広がり。



ゴミの分別チェックをする職員

7月臨時市議会

平成23年第6回(7月)臨時会が7月25日に行われ、今臨時会には議案2件が提出され、すべて可決されました。

< 7月臨時会日程 >

7月25日 本会議 (議案上程・説明、議案質疑・付託)
社会文教委員会
本会議 (委員長報告、質疑・討論・採決)

7月臨時会提出案件の審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第35号	湖周行政事務組合の設置について	可決 (賛成多数)
議案第36号	平成23年度諏訪市一般会計補正予算 (第3号)	可決 (賛成多数)



諏訪市では、車イスでも議会を傍聴出来る様に昨年より昇降機を設置してある。私は正直議会について余り興味は持っていなかったが、市民のためにどのような事が話し合われているのか直接この目で見聞きたいと思い五月の臨時議会、九月六日の議会をエスカルゴの会の会員さんと一緒に傍聴しに行った。車イスから昇降機に乗り換え、階段を上るのだが、かなり上を向いた状態になるため少し不安がある。傍聴席への入口は狭く難点である。一人が上で昇降機を操作し、下で二人の職員が支えてくれるので転落の心配はない。議場は明るく見やすかったのだが、もう一つ難点として声が反響してしまい何を質疑応答しているか聞きにくかった。二時間傍聴したが、他に傍聴している人が十五人ほどいた。

傍聴記
車イスで
九月定例議会を傍聴
身体障害者団体エスカルゴの会代表
興石 芳男

選挙 第8号 湖周行政事務組合議会議員選挙について

湖周行政事務組合議会議員が決定しました。 小林 佐敏 有賀ゆかり
井上 登 丸山 健一

選挙 第9号 諏訪市選挙管理委員及び補充員の選挙について

諏訪市選挙管理委員及び補充員に以下8名の方々が選出されました。

◇選挙管理委員 北澤 國裕 田中 教夫 小口 一幸 油井かほる
◇選挙管理委員補充員 武居喜美子 入江 公子 笠原 博人 宮坂 二郎

市議会 解説コーナー

せんぎょうかんり いん 選挙管理委員とは?

選挙管理委員会は、公正な選挙を行うため、市長から独立した機関として置かれるもので、議会において選挙された4人の委員により構成されています。

選挙管理委員は、選挙権を有する人で、人格高潔、政治及び選挙に関し公正な識見を有する者のうちから議会の選挙により選ばれ、任期は4年間です。

また補充員とは、選挙管理委員に欠員が生じたときに委員になる立場の人で4名選出されます。

長野県市議会議長会表彰

長野県市議会議長会が去る7月7日、8日の2日間わたって飯山市で行われ、任期後半(2年間)副議長であった平林治行議員がその功績を認められ表彰されました。



市議会全員協議会にて議長から表彰の伝達を受ける平林議員

9月議会で審議された請願・陳情の結果

請願・陳情番号	請願・陳情内容	提出者	採決結果
請願第1号	機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める請願書	食と心身の健康を考える会 代表 吉家 文子	採択 (全会一致)
陳情第3号	30人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書	長野県教職員組合諏訪支部 代表 矢島 伸一	採択 (全会一致)
陳情第4号	長野県独自の「30人規模学級」の中学校全学年への拡大を求める意見書提出に関する陳情書	長野県教職員組合諏訪支部 代表 矢島 伸一	採択 (全会一致)
陳情第5号	郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書の提出に関する陳情書	郵政政策研究会南信北地区会 会長 笠原 透	採択 (賛成多数)
陳情第6号	「検討委員会」に市民公募による委員の追加を求める陳情書	リハビリテーションセンター諏訪を考える会 代表 小林幸子・山崎雄二	不採択 (賛成多数)
陳情第7号	浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書の採択を求める陳情書	脱原発諏訪連絡会 共同代表 塩原 俊・藤瀬恭子 毛利正道	継続審査 (賛成多数)

9月定例会の提出案件の審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第37号	諏訪市非常勤特別職の職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
議案第38号	諏訪市税条例等の一部改正について	可決(賛成多数)
議案第39号	諏訪市都市計画税条例の一部改正について	可決(全会一致)
議案第40号	諏訪市立小学校及び中学校施設管理条例の一部改正について	可決(全会一致)
議案第41号	諏訪市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
議案第42号	平成23年度諏訪市一般会計補正予算(第4号)	可決(賛成多数)
議案第43号	平成23年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
認定第1号	平成22年度諏訪市一般会計歳入歳出決算認定について	認定(賛成多数)
認定第2号	平成22年度諏訪市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定(賛成多数)
認定第3号	平成22年度諏訪市霧ヶ峰リフト事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全会一致)
認定第4号	平成22年度諏訪市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全会一致)
認定第5号	平成22年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全会一致)
認定第6号	平成22年度諏訪市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全会一致)
認定第7号	平成22年度諏訪市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全会一致)
認定第8号	平成22年度諏訪市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定(賛成多数)
認定第9号	平成22年度諏訪市水道温泉事業会計歳入歳出決算認定について	認定(全会一致)
認定第10号	平成22年度諏訪市下水道事業会計歳入歳出決算認定について	認定(全会一致)
議員議案第6号	諏訪市議会議員定数条例の一部改正について	可決(全会一致)
議員議案第7号	意見書の提出について(郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書)	可決(賛成多数)
議員議案第8号	意見書の提出について(機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書)	可決(全会一致)
議員議案第9号	意見書の提出について(30人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書)	可決(全会一致)
議員議案第10号	意見書の提出について(長野県独自の「30人規模学級」の中学校全学年への拡大を求める意見書)	可決(全会一致)

お悔やみ

諏訪市議会議員、丸山健一氏が平成23年10月18日(火)に病気のためお亡くなりになりました。
謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心から御冥福をお祈りいたします。



〈丸山議員の経歴〉

昭和54年4月初当選5期17年
平成3年5月～平成7年4月
社会委員会委員長
平成23年5月～
社会文教委員会委員長

等を歴任

議会の傍聴にお出かけ下さい

～12月定例会は11月28日(月)招集予定です～

詳しい日程については議会事務局までお問い合わせを。

(TEL0266-53-0261)

LCV13チャンネル(アナログ)で、代表質問・一般質問の音声と静止画像による市議会生中継を行っていますのでご覧ください。

また、専用の車いすに座ったまま階段の移動が可能な階段昇降機を導入し、傍聴席も車いすのまま傍聴することが可能なスペースを設けました。ご利用のお申込みやご不明な点がございましたら、諏訪市議会事務局・総務課(TEL52-4141)までお電話ください。

陳情等は、招集日の一週間前までにご提出を!

編集後記

不順な天候が続く、ちよつとつらい夏でした。涼しくなり始めたかと思うと、冬仕度になりませんが、短い秋を楽しみましょう。

災害も続き、ありとあらゆる方面で放射能汚染の影響を免れず、生きるということをあらためて考えさせられます。困難を乗り越えるためには、知識、技術、システムよりも知恵が問われている気がします。三人寄れば文殊の知恵、市民・行政・議会がタッグを組んで未来を創っていききたいと思ひます。

開かれた議会をめざす諏訪市議会では、議会で行われている様々な審議を議会だよりとしてお届けしています。市民の皆さんの参加と忌憚のないご意見をお待ちしています。

議会だより編集委員会

委員長 横山 真
副委員長 有賀 ゆかり
委員 宮下 和昭
井上 登
廻本 多都子